

ブ レ ー カ 特定自主検査記録表

証明書発行日 23 年 1 月 22 日 様式SR-EB-01-B
 証明書発行No. 11-177 標章No. 0682472

3 年 間 保 存

- ① プレーカ本体を装着する機体及びブーム等の作業機部分に関する検査記録については、様式SR-EHC-01及び02(油圧ショベル)等を使用すること。
 ② 区分又は検査箇所「油圧式」又は「空圧式」と区別のないものは、油圧式プレーカと空圧式プレーカで共通の部分である。

メーカー名	プレーカ本体 <u>板河</u>	管理番号	<u>YF-018</u>	使用者住所氏名又は名称	中城村字久場1991番地 <u>町田機工株式会社</u>
型 式	プレーカ本体 <u>H20G</u>	製造番号	プレーカ本体 <u>11885</u>	機械管理者氏名	<u>町田宗才</u>
性 能	プレーカ本体 <u>1545 kg</u>	装着機械	<u>320d</u>	検査業者登録No.	<u>第 1 7 号</u>
検査場所	<u>町田機工 ユー(子)</u>			検査業者又は事業者住所・名称責任者名	沖縄市登川3458番地 <u>マチダテクノ(株)</u> <u>ア吉 小五</u>
検査年月日	<u>H23</u> 年 <u>11</u> 月 <u>21</u> 日	検査者氏名	<u>山内 亮</u>	責任者	

区分	No.	検査箇所	検査内容	検査方法	検査結果 良 不良	補修 内容	区分	No.	検査箇所	検査内容	検査方法	検査結果 良 不良	補修 内容
ブ レ ー カ 本 体	1	ブレーカ上	封入ガス圧力、ガス漏れ	圧力計 石けん水	✓		油 圧 式	17	フィルター エレメント、 ケ ー ス	汚れ、目詰まり、損傷、油漏れ	目 視	—	—
	2	シリンダー	油漏れ、ピン穴き裂、 ブラケットはめ合い部摩擦	目 視	✓			18	高圧配管	支持状態、つぶれ、継手部漏れ	目 視	✓	
	3	ブレーカ下	き裂、損傷、摩耗、チゼルしゅう 動部ブッシュ摩耗・油漏れ、給脂	目 視 スケール	—	L		19	油圧ホース	き裂、損傷、老化、ひび割れ、 ねじれ、油漏れ、干渉	目 視	✓	
	4	アキュム レーター	打撃の異常(ホース振れ、むら 打ち、異音)、接続部油漏れ	目 視 聴 診	✓			20	リリース バルブ	作動、油漏れ	目 視 操 作	—	—
	5	ブレーカ上	接続部緩み	目 視 テストベンチ	—	—		21	操 作 弁	作動、油漏れ、取付け	目 視 操 作	—	—
	6	シリンダー	ピン穴き裂、 ブラケットはめ合い部摩擦	目 視	—	—		22	減 圧 弁	作動、油漏れ、取付け	目 視 操 作	—	—
	7	ブレーカ下	き裂、損傷、摩耗、チゼルしゅう 動部ブッシュ摩耗・給脂	目 視	—	—		23	アキュム レーター	打撃の異常(ホース振れ、むら 打ち、異音)、*ガス封入圧	目 視 聴 診 圧力計	—	—
	8	チゼル 保持ピン	き裂、変形、摩耗	目 視 ノギス	✓			24	エアホース	損傷、ひび割れ、老化、継手部 緩み、エア漏れ、クランプ状態	目 視 聴 診	—	—
	9	チゼル保持ピン用 抜止めピン	き裂、変形、摩耗	目 視 ノギス	✓			25	操 作 弁	作動	操 作	—	—
	10	ボルト、ナット	取付	目 視 テストベンチ	✓			26	ライ ン オイラー	油量・汚れ	目 視	—	—
	11	チゼ ル	き裂、変形、摩耗	目 視	—			27					
ブ ラ ケ ッ ト	13	ブラケット	き裂、摩耗、変形、損傷	目 視 ノギス	✓		空 圧 式	28	操作レバー、 ペダル	ストローク、おた	目 視 操 作	✓	
	14	取付けピン	き裂、変形、摩耗、給脂	目 視	✓			29	総合テスト	作動、異音、異常振動、異常発熱	操 作 聴 診 触 診	✓	
	15	ボルト、ナット	取付	目 視 テストベンチ	✓								
	16	緩衝材 (油圧式)	き裂、摩耗、劣化	目 視	✓								

事業要 請 等	次回特定自主検査実施年月 <u>H24</u> 年 <u>11</u> 月
	<u>定期的にフリーサービスを行ってほしい。</u>

補 修 等 の 措 置 内 容			
照合No.	補修箇所及び不具合状況	補修年月日	補修実施内容
3	給脂不足	H23.4.21	フリーサービス

備 考	1. 検査の結果、異常のないものは、検査結果欄の良に、また異常なものは不良の欄に「✓」印の記号を記載する。 2. 検査結果が異常なものについては、検査内容、検査方法欄の該当項目を○で囲む。 3. 検査内容の項目に*印が付けられた項目は、関連機能が正常であれば検査を省略できる。省略した場合は*印を○で囲む。 4. 検査の結果、補修等を行った場合は、補修内容欄に右の記号に従って記載する。また補修内容等の詳細説明を要するものについては、補修等の措置内容欄に記載する。	記 号	交換 X	修理 △	調整 A	締付 T	清掃 C	給油水 L	該当なし —
--------	---	--------	---------	---------	---------	---------	---------	----------	-----------